



総合資料館だより

2009.7.1 No.160



当館所蔵「古久保家文書」が 京都府指定有形文化財に

このたび、当館所蔵の古久保家文書(甲266点・乙43点)と文書の一部が入っていた文書箱が京都府指定有形文化財(古文書)に指定されました。古久保家は、江戸時代、京都町奉行所と町々の間の事務を担当する町代という役職を務めた家です。主要なものに、①御触留、②御触頭書、③町代日記があります。

①は、町奉行所から町代を通じて町々に出される触(命令等)を書き留めたもので、途中欠けている分がありますが、元禄5(1692)年から文化10(1813)年と慶応3(1867)年の30冊があります。②は、触の要旨を書き留めたもので、①と同じですが元禄5年から嘉永3(1850)年の15冊があります。③は、町奉行所内にあった公事番所の町代勤番日記等で、延宝3(1675)年から文久3(1863)年までの36冊があります。その他、これら以外に慶長9(1604)年の豊国大明神の花笠踊衆への給米請取、茶道関係の写本などがあります。

目次	当館所蔵「古久保家文書」が京都府指定有形文化財に……………	1
	歴史資料課の窓から「家出と伊勢参りー古久保家文書「町代日記」からー」……………	2
	古文書入門教室、歴史資料カレッジが新しく始まります……………	3
	文献課の窓から「水の事故にはご用心」……………	5
	最近の収集資料から…………… 6	総合資料館ホームページのご案内…………… 7
	展覧会等のご案内 友の会事務局から 他……………	8

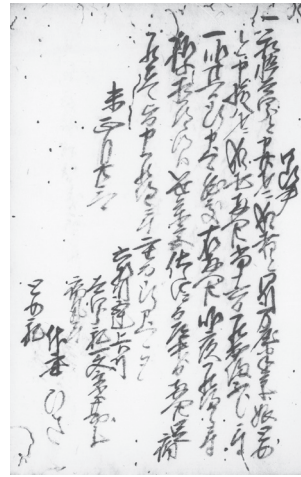
家出と伊勢参り — 古久保家文書「町代日記」から —

今回京都府指定有形文化財になった古久保家文書には、京都町奉行所と町を仲介する町代が記した公務日記「町代日記」があります。このうち正徳元(1711)年・同2(1712)年、元文元(1736)年・同4(1739)年、延享元(1744)年の5冊の日記には、町人達から奉行所宛にほぼ毎日のように差し出された「御断書」(事件等の届)が書き留められています。その内容は、家出・捨て子・火事・盗難・金銭トラブル・自殺・変死等、多岐にわたりますが、特に多いのが10代から20代の若者達の家出です。

彼等の家出の理由は、出稼ぎ・転職・店の金の持ち逃げ等さまざまですが、この時代に特徴的で目につくのが伊勢参りがらみの家出です。件数は時期によってばらつきがありますが、平均して月5件程度、多い時には10件(元文元年5月)、9件(元文4年1月)の月もありました。

倅や奉公人等が「伊勢参りに行くといったまま帰ってこない」「伊勢参りに行ったと思っていたがまだ帰ってこない」「行方不明だったが伊勢参りから戻ってきた」という簡単な届が大半ですが、伊勢参りをした上に西国巡礼して路銀がつき帰れなくなった28才の奉公人(正徳元年7月17日)、先輩と一緒に伊勢参りするつもりだったがはぐれてしまい1人で帰ってきた19才の奉公人(元文元年6月12日)、2人して伊勢参りしようと家出したのに途中で足が痛くなって戻ってきた22才の倅と18才の娘(元文4年1月23日)(写真)、伊勢参りしたついでに故郷に立ち寄ったが病気になってしまった22才の奉公人(元文4年1月24日)、伊勢参りの道中で病気になり宿々で養生してやっと帰ってきた29才の奉公人(延享元年8月24日)等、人々の動きを知ることのできる具体的な御断書もあります。

さて江戸時代、伊勢参りは弥次・喜多道中の



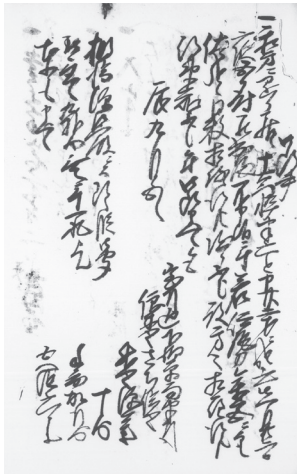
一
上在候付候不二同私
候候由、申成町倅
、旨ニ様然候候万太御
以申而子処二者屋四断
上罷、相、付、半郎書
帰道尋右、両兵と
候中候両一人衛申
ニよ得人昨共娘廿
付りハ共廿当と才
、両、昨一十めニ
重入い夜日六と成
而共せ罷御日申候
断脚足参婦断罷拾者
断痛宮候申出八与
申罷仕ニ上帰才、

▲町代日記 元文4年1月23日の条

滑稽本「東海道中膝栗毛」の大ヒットにみられるように、庶民のあこがれでした。信仰の気持ちはもちろんのこと観光の楽しみも大きかったのでしょうか。人々は伊勢講等で旅費を積立て、講や仲間を代表して伊勢神宮をめざして旅をしました。これを「代参(だいさん)」といいます。往きは餞別、帰りは神札や土産物を抱えての大旅行。当時の庶民にとっては一生に一度の大イベントだったでしょう。

一方、旅費の積立などできない子どもや奉公人達は、親や主人に無断で家を出て伊勢神宮を参詣しました。当然路銀は少なく、多くは沿道の人達等からの親切な施しを受けながらの厳しい旅でした。これを「抜け参り(ぬけまいり)」といいます。今回紹介している「町代日記」の御断書の中の伊勢参りも「いせ参宮」「抜け参り」「参宮」「抜参宮」等と色々な表現になっていますが、いずれも親や主人が許可していない参詣なので「抜け参り」といえます。

ただ京都から伊勢までは大体7日(往復各3日お参り1日)の旅といわれ、元気な若者ならばふらりと出掛けても何とかなる範囲の旅行でしょう。そのためか当時の京都では「抜け参り」はそれほど珍しい出来事ではなかったと思われる。親や主人達も、伊勢への道中を搜索させるものの中にはいましたが、たいていは慌てて奉行所に届け出るのではなく、まずは伊勢の旅から戻ってくるのを待ち、それでも戻ってこない時に奉行所に届け出ました。(写真)



一
私六二付と故申
御断書
懸二廿五伊夜申
居才二時参候御
候右二候歸而歸
不者衛
先門
月俸
廿半
辰断候得官罷二候
九申得共二出成十
月上共歸而歸候右
五候行りも不者衛
日、衛不仕申先門
以知申候候月俸
上不候哉二廿半

▲町代日記 元文元年9月5日の条

このように失踪後しばらく経ってから届を出していたのですから、さっさとお参りを済ませて家に戻り表沙汰にならなかった家出＝「抜け参り」もかなりあったのではないのでしょうか。

「抜け参り」は宝永2(1705)年、明和8(1771)

年、文政13(1830)年とおよそ60年ごとに流行した熱狂的な集団参詣「おかげまいり」の年に特に盛んだったといわれます。しかし「町代日記」を読むと、京都では若者達が流行の年に限らず日常的に「抜け参り」をしていた様子が彷彿としてきます。

私達は、江戸時代の人々は通行手形等で移動が規制され、よほどのことがない限り動かないというイメージを持っています。しかし、資料を読むと意外に人々は気儘に消えたり表れたりしています。古久保家文書の「町代日記」はそんな京都の庶民の実像を私達に伝えてくれます。この資料は文書閲覧室で閲覧できますので、ご利用ください。

(歴史資料課 辻 真澄)

古文書入門教室、歴史資料カレッジが新しく始まります

当館では館蔵資料の普及の一環として、平成14年度から同20年度まで「古文書解説講座」を開催してきました。この間多くの皆様に受講していただきました。これも、皆様の御理解、御協力のお陰と感謝申し上げます。

平成21年度からは、御要望に合った事業とするため、新しく、①「古文書入門教室－古文書は面白い－」②「歴史資料カレッジ」を開催することにしました。

①は、初心者から初級者を対象に、簡単な古文書の解説をとおして、入門の心構え、解説の基礎知識を学ぶものです。

②は、古文書、行政文書、写真など幅広い分野の館蔵資料を使用して京都の歴史に関する講義を行います。

奮ってご参加いただきますよう御案内申し上げます。

①平成21年度 古文書入門教室－古文書は面白い－

開催日時	平成21年8月25日(火)～8月27日(木) 14:00～16:00		
講師	辻 真澄 (当館職員)		
定員	60名	会場	京都府立総合資料館 2階会議室
受付期間	平成21年8月3日(月)～8月17日(月)		

②平成21年度 歴史資料カレッジ

	回	月 日	タイトル(仮題)	講 師
前 期	1	平成21年 9月10日(木)	日露戦争と京都	井口和起 (総合資料館長)
	2	平成21年 9月17日(木)	近世丹波の触と「徳川領国」 - 解説を中心に -	山田洋一 (当館職員)
	3	平成21年 9月24日(木)	京都の写真家黒川翠山の一断章	大塚活美 (当館職員)
後 期	4	平成22年 3月 7日(日)	御用状を読む-旗本天野氏上方 代官森島家の文書から-	島津良子氏 (奈良女子大学講師)
	5	平成22年 3月14日(日)	戦後京都の出発	福島幸宏 (当館職員)
	6	平成22年 3月21日(日)	中世の旅の一断面 - 東寺百合文書より -	池田好信 (当館職員)
時 間	*いずれも14:00~16:00		定 員	前期後期とも200名
会 場	京都府立大学本館・合同講義棟3階 第3講義室 (京都市左京区下鴨半木町)			
受 付 期 間	前期分募集 平成21年 8月24日(月)~ 9月 3日(木)			
	後期分募集 平成22年 2月15日(月)~ 2月26日(金)			
その他	6回全部受講して頂いた方には修了証を発行します。			

①②問合せ先・申込方法・申込先・受講料

問 合 せ 先 京都府立総合資料館歴史資料課

住所 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4(TEL075-723-4834)

申 込 方 法 ハガキ・F A X・メールのいずれかに①住所②氏名(ふりがな)③電話番号をご記入の上、
申込受付期間中に下記の申込宛先までご応募してください。

なお、電話でのお申し込みは受け付けておりません。

ご応募は先着順に受け付け、定員を超えて受講していただけない方のみご連絡いたします。

申 込 先 ・はがき 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4

京都府立総合資料館歴史資料課

・ F A X 075-791-9466

・メール shiryokan-rekishi@pref.kyoto.lg.jp

受 講 料 無 料

その他に、地域に残る古文書などの資料の解説、整理、取り扱いなどに関する講習のご要望があれば、職員が出張して行きますので、ご希望の方はお問い合わせください。

水の事故にはご用心

夏は海水浴！時代が移り、レジャーが多様化しても、夏の楽しみといえばやはり海水浴が第一でしょう。

ただ、いつの時代も水の事故は心配なもので、京都府広報課が昭和41年8月に発行した『府政写真グラフ』No.56でも水難事故防止を呼びかけています。文献課では京都官庁資料として、一般的な図書だけでなく、このようなポスターに類するものなども集めています。

さて、官庁資料である統計や報告書というちょっと硬い資料から京都の海水浴場を見てみると・・・

昭和29年に当時の建設省計画局施設課が出した『全国水浴場調査報告』(M-785.2-Ke51)という報告書があります。これはガリ版刷り243ページの冊子ですが、国立国会図書館にもなく、大学図書館も1館しか持っていません。

この報告書では、昭和28年には、京都府内に水浴場が21あり、内訳は、海岸13、湖1、河川7です。海岸はもちろん日本海で、天橋立小天橋海水浴場は「砂浜水清」く、貸しボート45艘、茶店3店などがあり、7万人が利用したことがわかります。湖は、京丹後市網野町の離湖のことです。ここは「淡水湖で深」く、貸し舟が8艘営業していました。河川は、「安全、衛生的、婦人子供に適す」とされた木津川水浴場などがありました。しかし、この年は、木津川では南山城水害を引き起こした集中豪雨があり、水浴場は8月19日に閉鎖されています。それでも30万人の利用がありました。京都市内では「夷川疎水ダム」に18万人の利用があったといえますから、こちらもたいそうにぎわっていたようです。

水浴場調査はこの年だけで終わったのか、続編は発行されておらず、この意味からも孤高の貴重な図書です。

時代は移って、現在の京都府の海水浴場はというと、社会教育施設として捉えられており、『社会教育調査報告書』平成17年度<18年10月発行>(M/379.05/Mo3/05)では、京都府の「海



『府政写真グラフ』No.56より

の家・海水浴場等の施設」は20、「河川・湖沼等の遊泳場」は無しとなっています。また、『京都府統計書』平成18年<20年3月発行>(MK0/351.62/Ky6)でも、平成17年度の社会体育施設数として「山の家・海の家・海水浴場」が23となっています。

余談ですが、統計書は調査した年と本として発行された年がずれるのが普通で、最新の数字といっても現年の数字はわからないのが常です。『社会教育調査報告書』は調査そのものが3年に一度です。

本の形ではなくインターネットで見られる統計になりますが、警察庁生活安全局地域課の「平成19年中における水難の概況」(平成20年7月17日)<http://www.npa.go.jp/safetylife/chiiki28/h19_suinan.pdf (2009年6月8日最終確認)>では、平成19年度の京都府の水難事故は33件、死者が11名出ています。ここでは、事故防止のために、

- 危険箇所の把握
- ライフジャケット等の着用
- 状況の的確な判断
- 保護者等監護者の付き添い
- 子供に対する水難事故防止のための指導を挙げています。

水の事故は夏に多いので、子どもはもちろん、大人も、これからの夏休み期間は特に注意したいものですね。

🌸🌸🌸🌸 最近の収集資料から (平成21年3月～5月) 🌸🌸🌸🌸

<京都>

葵祭の始原の祭り—御生神事—御蔭祭を探る

世界文化遺産・賀茂御祖神社(下鴨神社)の祭り
新木直人著 ナカニシヤ出版 2008 6,170p
図版12p 寄贈

古寺巡礼京都 新版 1～31 淡交社 2006～
2009 31冊 継続

京都町家案内 コトコト 2009 143p (らく
たび文庫ワイド)

園部藩のあゆみ 平成20年度秋季企画展 南丹
市立文化博物館編刊 2008 61p 寄贈

ふるさと山家の今昔写真 第1巻 祖父母の時
代 山家今昔写真の会編刊 2007 215p

ふるさと山家の今昔写真 第2巻 父母たちの
時代 山家今昔写真の会編刊 2009 219p 寄
贈

京都大学文学部地理学教室百年史 京都大学文
学部地理学教室編 ナカニシヤ出版 2008.8
9,303p 寄贈

『京都大学文学部地理学教室百年史』／『地理
学京都の百年』補遺 京都大学文学部地理学教
室編 ナカニシヤ出版 2008 107p 寄贈

<人文>

図書館情報学研究文献要覧 1999～2006 「図
書館情報学研究文献要覧」編集委員会編 日外
アソシエーツ 2009 18, 991p

専門情報機関総覧 2009 専門図書館協議会事
業推進委員会編 専門図書館協議会 2009
10, 132, 820, 21p

日本国際交流史事典 トピックス 1853-2008
日外アソシエーツ編集部編 日外アソシエーツ

2009 7, 752p

情報検索入門ハンドブック 松本勝久著 勉誠
出版 2008 283p

外国研究書総目録 明治・大正・昭和戦前期
日外アソシエーツ編刊 2008 14, 752p

国家と宗教 宗教から見る近現代日本 上・下
巻 京都仏教会監 洗建・田中滋編 法藏館
2008 2冊

社寺境内図資料集成 1・2 国立歴史民俗博
物館 [編] 刊 2001・2002 2冊 寄贈

対外関係史辞典 田中健夫・石井正敏編 吉川
弘文館 2009 4,902p 図版16p

記紀と古代史料の研究 荊木美行著 国書刊行
会 2008 2,511,5p

近世朝廷社会と地下官人 西村慎太郎著 吉川
弘文館 2008 7,319,7p 寄贈

東洋美術作品レファレンス事典 日外アソシエ
ーツ編刊 2008 8,901p

Canary 志賀理江子著 赤々舎 2007 1冊

木村定三コレクション名作選 愛知県美術館
2008 254,9p 寄贈

京都府包括外部監査報告書 平成20年度 土江
田雅史 [編] 京都府 2009 170,156p 取得

京都府統計書 平成19年度 京都府政策企画部
調査統計課編刊 2009 402p 取得

京都府の人口 京都府推計人口調査結果 [平
成20年度] 京都府政策企画部調査統計課 [編]
刊 2009 45p 取得

京都市の環境 環境への負荷の少ない持続可能なまち「環境共生型都市・京都」平成20年度京都市環境局環境企画部環境管理課〔編〕刊
2009 157p 寄贈

大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 京都市・大学コンソーシアム京都〔編〕刊 2009
62p 寄贈

やましろ農の担い手づくりチャレンジプラン
京都府山城広域振興局農林商工部企画調整室編
刊 2008 13p 取得

長岡京市外郭団体評価結果報告書 平成20年度長岡京市外郭団体評価委員会〔編〕刊 2009
63p 寄贈

火災・救急・救助統計 平成20年 京都中部広域消防組合〔編〕刊 [2009] 21p 寄贈

法務沿革誌 第5-8巻 法務省司法法制部編
法曹会出版 1993-2008 4冊

国民生活金融公庫の歩み 国民生活金融公庫編
刊 2008 323p 寄贈

政府開発援助(ODA)国別データブック2008
外務省国際協力局編刊 2009 13,1161p

国際連合世界人口予測 1950-2050 2006年改訂版
国際連合経済社会情報・政策分析局人口部編
原書房 2008 2冊

南極観測五十年史 国土地理院編刊 2007
10,690p 寄贈

JETRO50年の歩み ジェトロ総務部編 日本貿易振興機構 2008 346p 寄贈

総合資料館ホームページのご案内

(<http://www.pref.kyoyo.jp/shiryokan/>)

総合資料館ホームページでは、利用案内、所蔵資料案内、図書検索、文書解題、行事案内、刊行物案内等の情報発信を行っています。ここではその一部をご案内します。

○行政文書アーカイブズ

京都府立総合資料館が所蔵する行政文書のデジタル画像の一部を、ホームページでご紹介するページです。以下のデジタル画像を掲載しています。

- ・延喜式内並国史見在神社考証
- ・四百年前社寺建物取調書
- ・「古社寺調査書 社ノ分」

○図書検索画面

府立図書館、総合資料館所蔵資料を対象に、和図書、外国語図書、雑誌及び視聴覚資料を書名、著者名、出版者、キーワード、出版年から検索することができます。

○レファレンス事例(Q & A)

レファレンスとは、調査・研究に必要な資料の紹介をしたり、資料を探すお手伝いをすることです。現在23項目を掲載しています。

○貴重書データベース

総合資料館が所蔵している貴重書をデジタル撮影し、データベース化したものです。貴重書600点のうち、現在約160点を掲載しており、分類別・50音・キーワードで検索できます。

○文書解題

総合資料館が所蔵する古文書、行政文書について、その群ごとに数量・内容・特徴などの概略を示したものです。

「あいうえお順」に並べています。

展覧会等のお知らせ

7月25日(土)から8月23日(日)までの間、企画展「古典籍へようこそ」(仮称)を開催します。また、展覧会開催期間中には関連事業として、展覧会展示資料等に関連したトークセッションの開催を予定しています。企画展の内容など、詳細は決定次第、ホームページ、メールマガジン等でお知らせします。皆様のご来場、ご参加をお待ちしています。

友の会事務局から

◎ 平成21年度の友の会会員は、4月15日現在で253人です。

性別	継 続	新 規	計
男性	142人(56.2%)	8人(3.1%)	150人(59.3%)
女性	100人(39.5%)	3人(1.2%)	103人(40.7%)
計	242人(95.7%)	11人(4.3%)	253人(100%)

◎ 平成21年度の役員会を、5月13日(水)に開催しました。この役員会で平成21年度の事業計画が、次のとおり決定されました。

- ・現地講座(春期)
- ・見学会(秋期)
- ・総合資料館府民講座(総合資料館と共催)
- ・企画展の列品解説
- ・総合資料館だよりの頒布(年4回)
- ・京都文化博物館及び池大雅美術館の入館料割引

◎ 随時申込みを受け付けています。多数の方のご入会をお待ちしております。

問合せ先：友の会事務局
(当館庶務課内 TEL 075-723-4831)

古文書相談のご案内

○古文書の内容や解説についての相談
郵送による事前申込。申込方法の詳細については、次へお問い合わせください。

問合せ先：当館歴史資料課 TEL 075-723-4834

日 誌 (平成21年3月～5月)

- 2.29(土)～3.29(日) 総合資料館収蔵品展
- 3. 7(土) 寺子屋講座よみかき編
- 3.14(土)、26(木) 寺子屋講座そろばん編
- 3.24(火) 古久保家文書が府指定有形文化財に指定
- 3.27(金) 府立大学、府立植物園、府立総合資料館の3機関が包括協定を締結
- 5.15(金) 古久保家文書 府指定有形文化財指定記念講演

利 用 案 内

休 館 日 祝日法に規定する休日、
毎月第2水曜日、資料整理期、
年末年始(12月28日～1月4日)

【7月～9月の休館日】

7月8日(水)、7月20日(祝)、8月12日(水)
9月9日(水)、9月21日(祝)、9月22日(休)
9月23日(祝)

開館時間 午前9時～午後4時30分

交 通 京都市地下鉄烏丸線・北山駅下車
市バス④(北8) 北山駅前下車
京都バス④⑤⑥ 前萩町下車

ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/>

*総合資料館メールマガジンにご登録ください
(登録はこちらから)

<http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/maga.html>

発行 京都府立総合資料館 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1の4
京都府立総合資料館友の会(振替 01030-2-11991) TEL(075)723-4831 FAX(075)791-9466

○本誌に関するご意見・ご感想などを当館庶務課までお寄せください。

再生紙を使用しています。